



千代田区障害者就労支援センター通信

ちよだジョブコーチジャーナル

働くことを応援する

No.66



ICHI BUNNO ICHI

～FEMCARE SHOP～



ひとみさん(左) 宮前さん(右)

～ MY BODY, MY CHOICE. ～

“自由”な選択肢をあなたへ

千代田区神田神保町に『ICHI BUNNO ICHI』というお店があります。令和5年6月にOPENしたこちらのお店は、フェムテック・フェムケアセレクトショップです。女性の健康課題を解決するためのケア商品を取り扱うだけではなく、話をする場所・話ができる場所として、個々の相談と向き合いながら「こうあるべき」から「こうであってもいい」と思えるように子供から大人まで、障害の有無に関係なくすべての人が自分で考え、固定観念にとらわれずに自由な選択ができる場を提供しているところもお店の特徴です。

店名である『ICHI BUNNO ICHI』にもこだわりがあります。1/1 を見てもお分かりのように分母が1であることから、大多数の中の1人ではなく、あなた自身がありのままの自分で「あなたらしく」という意味を込めているそうです。「女性だから」と諦める世界から、「女性であること」を楽しめる世界へ。世の中の固定観念やタブーにとらわれない自由な選択をコンセプトに年齢も立場も、障害の有無も関係なく、すべての女性の未来への一歩を応援しているお店です。

● MY BODY, MY CHOICE. とその先にあるもの

MY BODY = 「自分の体」、MY CHOICE = 「自分の選択」があるからこそ、自分の資本である身体を大切に自分の気持ちや身体に素直になることが、女性にとって大事なことです。そしてその先にあるものが MY LIFE = 「自分の人生」であり、1つひとつの選択から自分の人生が決まる。特に女性は我慢することが多く、それが当たり前の世の中であるのも事実です。例えば女性は妊娠と出産、月経痛の悩み、更年期障害など女性の働き方に影響が多く離職につながるケースもあります。

他にも婦人科に通院するのは恥ずかしいなど敷居も高いようです。そのため女性は我慢して当たり前という固定観念や、デリケートな部分だからこそ相談しづらい環境では、特に話しづらいこともあります。ご来店される方には「話せて気持ちが楽になりました」と仰る方もいるそうです。

宮前朋子氏(代表取締役)は、このように、女性が相談できる場を設けたく『ICHI BUNNO ICHI』を出店しました。女性は女性らしい働き方があり、女性も自分らしい“私”でいられるような社会作りに貢献できるようになりたいと仰っておりました。

●障害者雇用と企業のニーズ

障害者雇用の現実として週20時間以上の勤務時間を求める企業が多いですが、株式会社Tomo様が求める人材はフルタイムではなく短時間で活躍できるスタッフを募集していました。この条件が障害者雇用における超短時間雇用に結び付きました。このように企業のニーズによっては短時間雇用が可能になり、短い時間からお仕事を始める方や、復職される方も働くことができる訳です。お仕事の内容も固定化せず得意なことから選択できる体制を整えています。企業として障害者の方が働くキッカケになりたいという思いから、実習生の受入れも率先して取り組んでいます。すでに10名の実習生が職場体験をしました。実習は1日30分からスタートも可能で、短時間や短期間でも自分で決められるようにしています。それは自分で選択肢から選ぶことで、諦めずに前向きに取り組んでほしいからです。実習生やスタッフの女性に共通していることは、みんな同じ悩みを持っていること。それらの悩みを相談できるのも、安心して働ける職場なのでしょう。

●実際に働いて気付いたこと(ひとみさんインタビュー)

私も30分の実習からスタートしました。

初めは販売の経験がなかったので正直に言うと自信がありませんでした。そんな時に「できることを見つけていきましょう」と言っていたことが印象的で、私も安心することができました。

いつも自分の表情や行動を見て、気遣ってくださり声を掛けてくれるのもありがたいです。仕事以外にも何でも話せる職場で、常に話し合える環境を作ってください職場に感謝しています。今ではInstagramやホームページのコラムに挑戦するまでになりました。まさか自分が投稿する側になるとは夢にも思っていませんでしたが、少しずつ勉強しながら覚えるようにしています。文章を書いて投稿することは、見られる方に自分の作品を見てもらう気持ちです。投稿したりコラムが掲載されると嬉しくて喜びを感じています。これからも皆様にてもらえるように、写真や動画も勉強していきたいと思っています。

●取材を終えて

取材をする中で代表の宮前氏の考え方や思いにブレることがなく強い意思と“本気さ”を感じました。『当たり前が当たり前ではない選択肢を増やす』という思いが、これから多くの女性や障害者が自分らしく生きていける時代が変わっていくと確信しています。こんな情熱的な宮前氏のもとで働いているスタッフの方も、いつも笑顔で勤務されています。お話をお聴きすると職場への感謝の気持ちが伝わってきました。お互いの信頼関係も築かれていて、アットホームな雰囲気作り＝働きやすい環境作りに貢献されている企業様だと、あらためて感じました。ありがとうございました。

(インタビューアール・構成)

千代田区障害者就労支援センター 藤田

【会社概要】

株式会社 Tomo

所在地: 東京都千代田区神田神保町 1-41-8岡本ビル 1階

FEMCARE SHOP ICHI BUNNO ICHI

(女性の健康管理を解決するためのケア商品を取り扱うお店)

HP: <https://ichi-bunno-ichi.com/>

EVENT × NEWS

障害のある方の「働く」について考える

～居なくては困る人財として 障害者スタッフから学ぶ“発見と感動”～



YORISOU社会保険労務士法人
代表 松山純子氏



同法人で働く当事者 笹川氏

講演は2部構成で行い、1部では松山氏より障害者雇用を行うにあたり、雇用する当事者の「心理的安全性」をつくることを最優先に行ってきたこと、障害特性の勉強会を行う時に個々の症状ではなく、特性による困りごとは何かに着目することを中心に学んできたこと、業務の洗い出しの仕方について事例を交えてお話いただきました。2部では当事者の笹川氏より現在のお仕事の内容や職場でのエピソードをインタビュー形式でお話いただきました。

「YORISOUは本当に温かくて、“自分の大事な居場所”と話されていたことが印象的でした。また、「ご本人にとって働くとは」と伺うと「コミュニケーション」と答えられ、目の前にいなくても相手の便利になることはコミュニケーションだと思っていると話されていました。当事者に寄り添う会社の姿に感銘を受けている参加者が多く、和やかな雰囲気の地域交流会となりました。

就労継続支援 B型「アイビス湯島」

～すべてのあなたを HAPPY に～



「すべてのあなたを HAPPY に」これはアイビスの合言葉です。アイビスに共感してくださるすべての方を HAPPY にしたい！そんな気持ちで日々支援をさせていただいています。

・まずは生活のリズムを整えたい ・社会との関わりを持ちたい
・ゆくゆくはもっとステップアップしたい

1歩を踏み出すには少し勇気がいりますよね。

でも大丈夫。皆さんの「こうなりたいな」に寄り添い、穏やかであたたかい毎日を送ることができるよう、アイビスのスタッフは全力でサポートします。アイビスは、1日1コマからのご通所が可能で(昼食無料)。楽しいイベントも企画しています。

また12月には、文京区に就労継続支援 B型「アイビス文京」がオープンしました。箱のリメイク作業や、PCを使ったWEB通販業務などのお仕事をご用意しておまちしております。

アイビス湯島、アイビス文京ともに見学や体験は随時受付しておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

(住所)

千代田区外神田 6-9-8 シュパール千代田 B1

(最寄り駅)

東京メトロ千代田線【湯島駅】6番出口より徒歩3分

(電話) 03-5834-3133, (FAX) 03-5834-3134

HP: <https://ibis-group.co.jp>



HPはこちらからもご覧いただけます↑



就労支援のお問い合わせ

発行: 千代田区障害者就労支援センター 第66号 (令和6年12月24日発行)

取材協力: 株式会社 Tomo

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。